

4 有機農業について

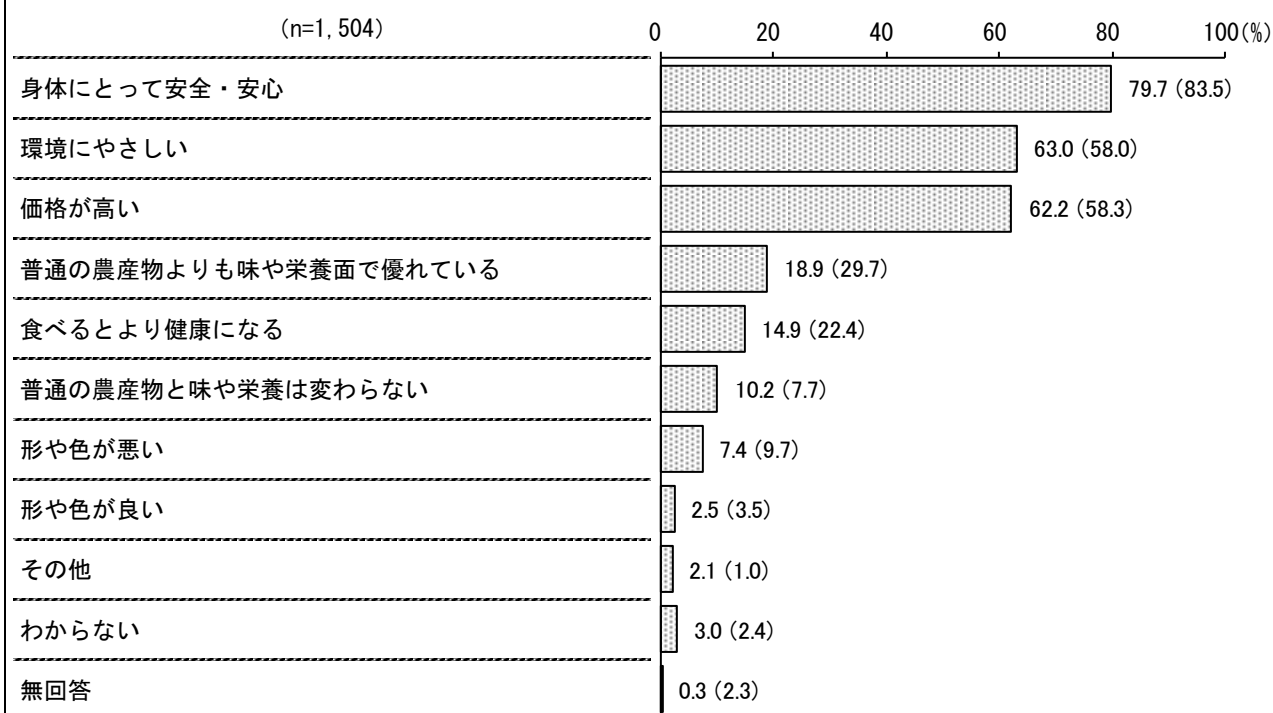
（１）有機農産物に対するイメージ

◇「身体にとって安全・安心」が約 8 割

問14 あなたは、有機農業により生産される農産物に対して、どのようなイメージを持っていますか。（○はいくつでも）

※ 有機農業とは、化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと、遺伝子組換え技術を利用しないことを基本として、環境への負担をできるだけ小さくした生産方法で行われる農業を指します。

<図表 4－1>有機農産物に対するイメージ（複数回答）



注）（ ）の数字は平成 30 年度の同様の項目による調査結果 n = 1,212

有機農産物に対するイメージを聞いたところ、「身体にとって安全・安心」（79.7%）が約 8 割で最も高く、以下、「環境にやさしい」（63.0%）、「価格が高い」（62.2%）、「普通の農産物よりも味や栄養面で優れている」（18.9%）が続く。（図表 4－1）

【地域別】

地域別で大きな傾向の違いはみられない。（図表 4－2）

【性・年代別】

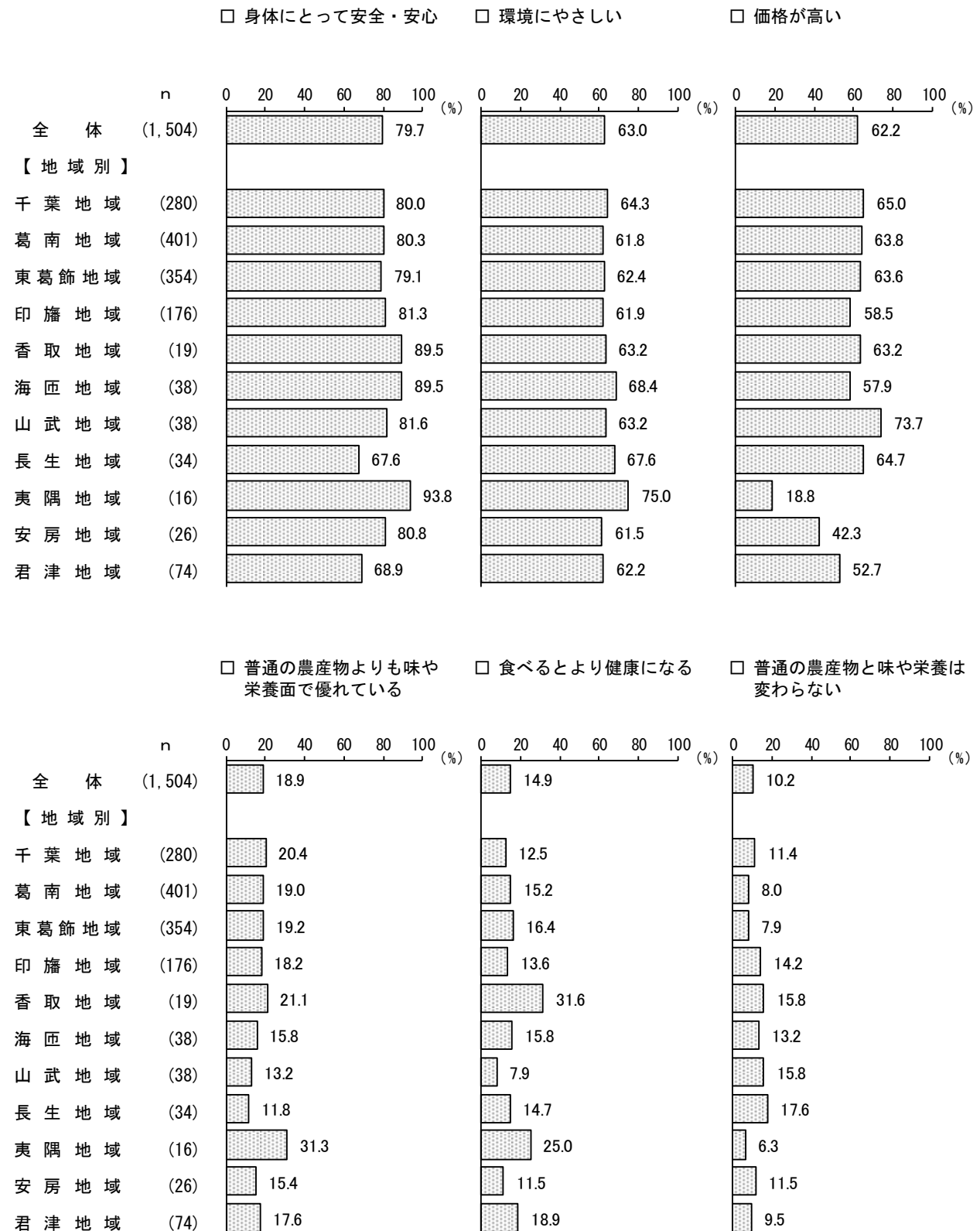
性・年代別にみると、「身体にとって安全・安心」は、女性75歳以上（90.8%）が 9 割、女性50代（89.1%）が約 9 割で高くなっている。

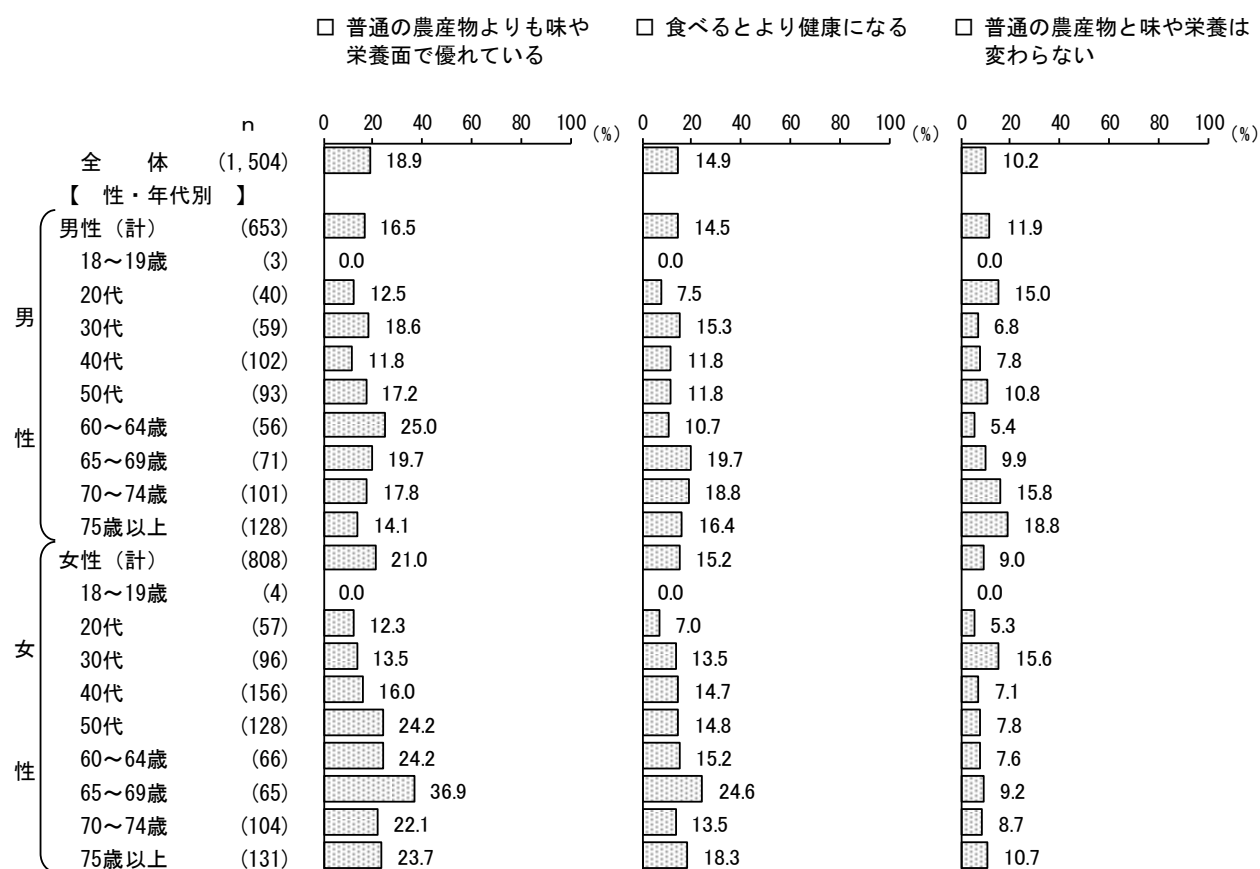
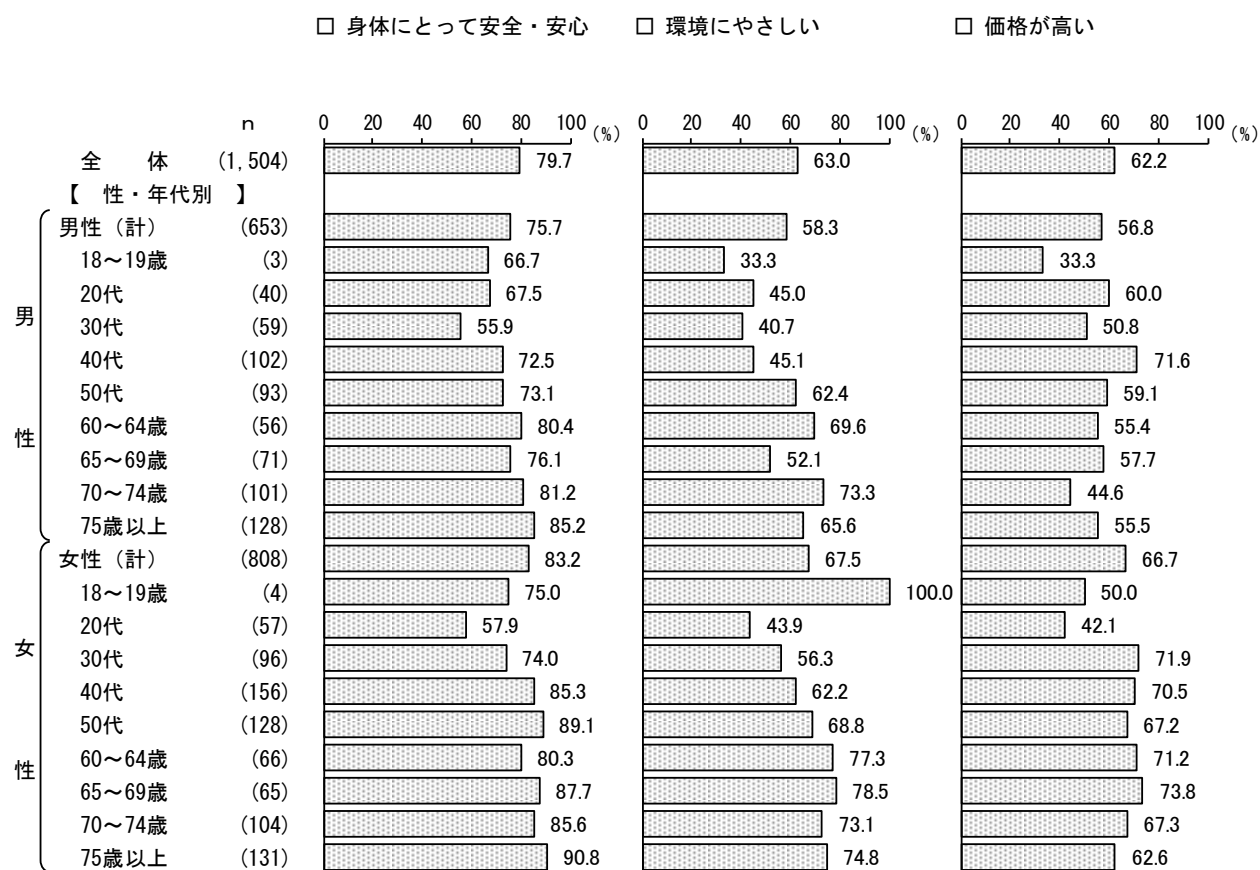
「環境にやさしい」は、女性65～69歳（78.5%）、女性60～64歳（77.3%）が約 8 割、女性75歳以上（74.8%）が 7 割台半ば、男性70～74歳（73.3%）、女性70～74歳（73.1%）が 7 割を超えて高く

なっている。

「価格が高い」は、女性65～69歳（73.8%）が7割台半ば、女性30代（71.9%）、男性40代（71.6%）が7割を超え、女性40代（70.5%）が7割で高くなっている。（図表4－2）

＜図表4－2＞有機農産物に対するイメージ（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



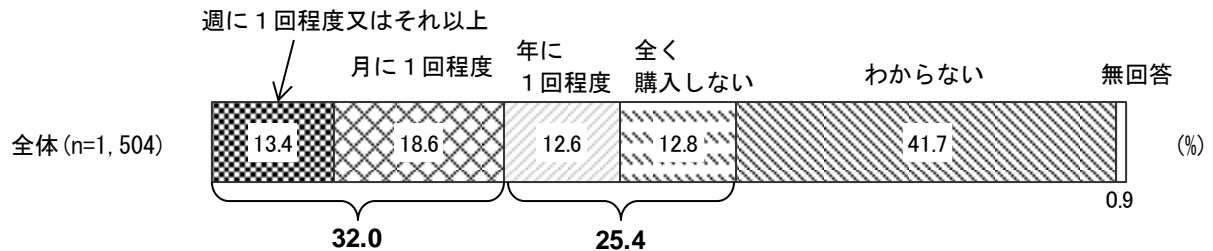


（２）有機農業により生産される農産物の購入頻度

◇『購入する（計）』は３割を超える

問15 あなたは、どのくらいの頻度で、有機農業により生産される農産物を購入していますか。（○は１つ）

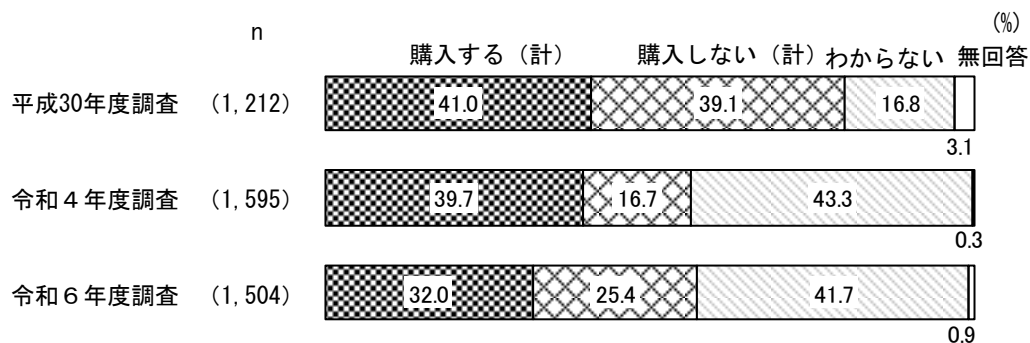
＜図表４－３＞有機農業により生産される農産物の購入頻度



有機農業により生産される農産物の購入頻度を聞いたところ、「週に１回程度又はそれ以上」（13.4%）と「月に１回程度」（18.6%）を合わせた『購入する（計）』（32.0%）は３割を超えている。

一方、「年に１回程度」（12.6%）と「全く購入しない」（12.8%）を合わせた『購入しない（計）』（25.4%）は２割台半ばとなっている。（図表４－３）

〔参考〕平成30年度・令和４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

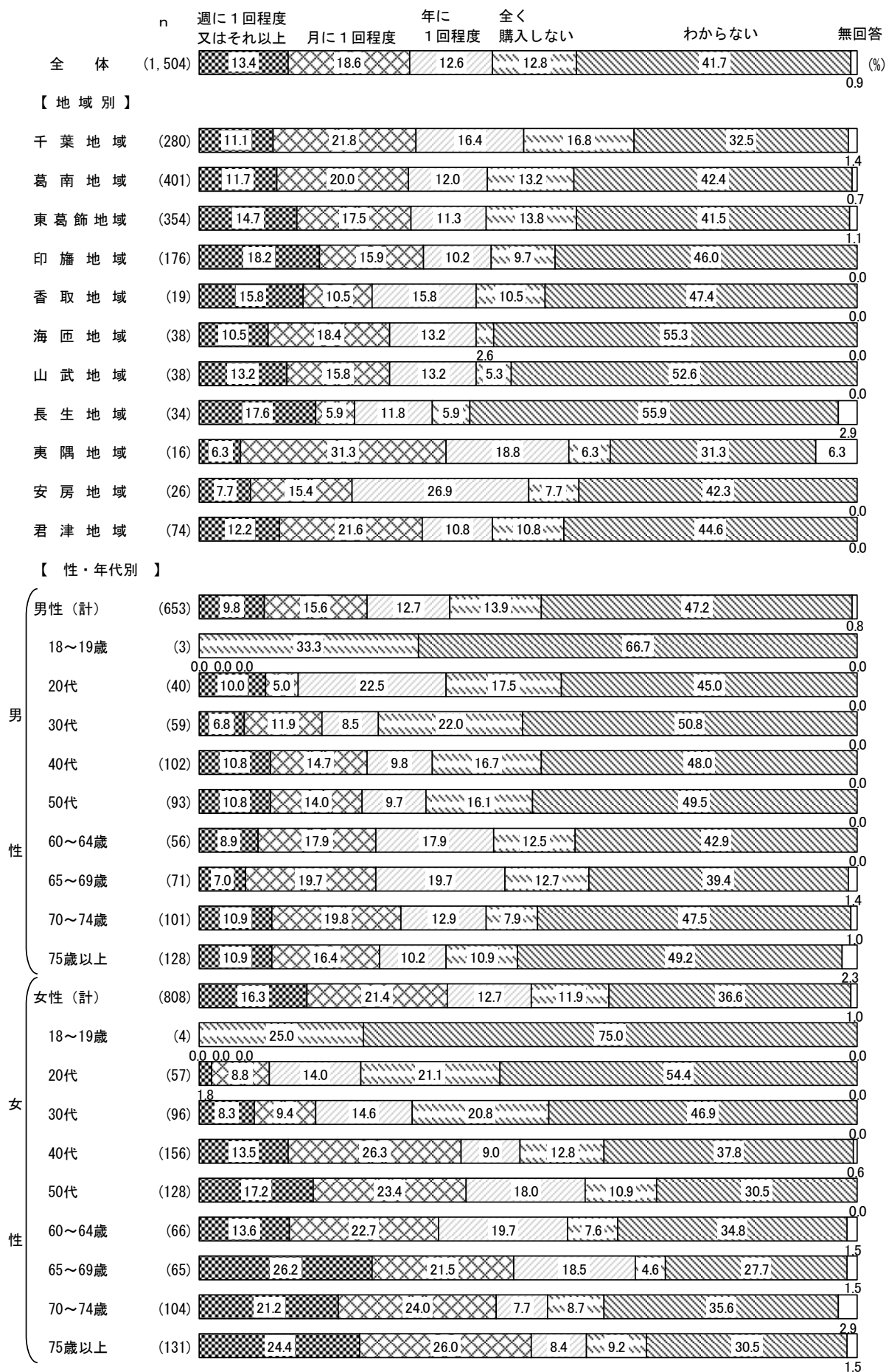
地域別にみると、『購入しない（計）』は“千葉地域”（33.2%）が３割を超えて高くなっている。（図表４－４）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『購入する（計）』は、女性75歳以上（50.4%）が５割、女性65～69歳（47.7%）が約５割、女性70～74歳（45.2%）が４割台半ば、女性50代（40.6%）が４割、女性40代（39.7%）が約４割で高くなっている。

一方、『購入しない（計）』は、男性20代（40.0%）が４割、女性30代（35.4%）が３割台半ばで高くなっている。（図表４－４）

＜図表 4－4＞有機農業により生産される農産物の購入頻度／地域別、性・年代別



（２－１）有機農産物購入理由

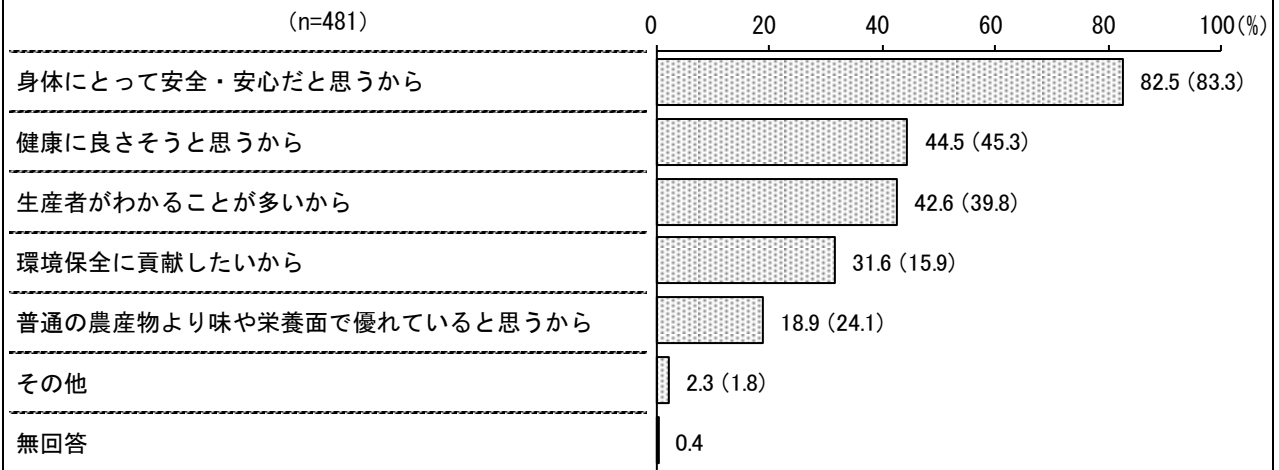
◇「身体にとって安全・安心だと思うから」が８割を超える

（問15で「週に１回程度又はそれ以上」、「月に１回程度」のいずれかをお答えの方に）

問15－１ あなたが、有機農業により生産される農産物を購入する理由は何ですか。

（○はいくつでも）

<図表４－５>有機農産物購入理由（複数回答）



注）（ ）の数字は平成 30 年度の同様の項目による調査結果 n = 497

有機農産物の購入理由を聞いたところ、「身体にとって安全・安心だと思うから」（82.5％）が８割を超えて最も高く、以下、「健康に良さそうと思うから」（44.5％）、「生産者がわかることが多いから」（42.6％）、「環境保全に貢献したいから」（31.6％）が続く。（図表４－５）

【地域別】

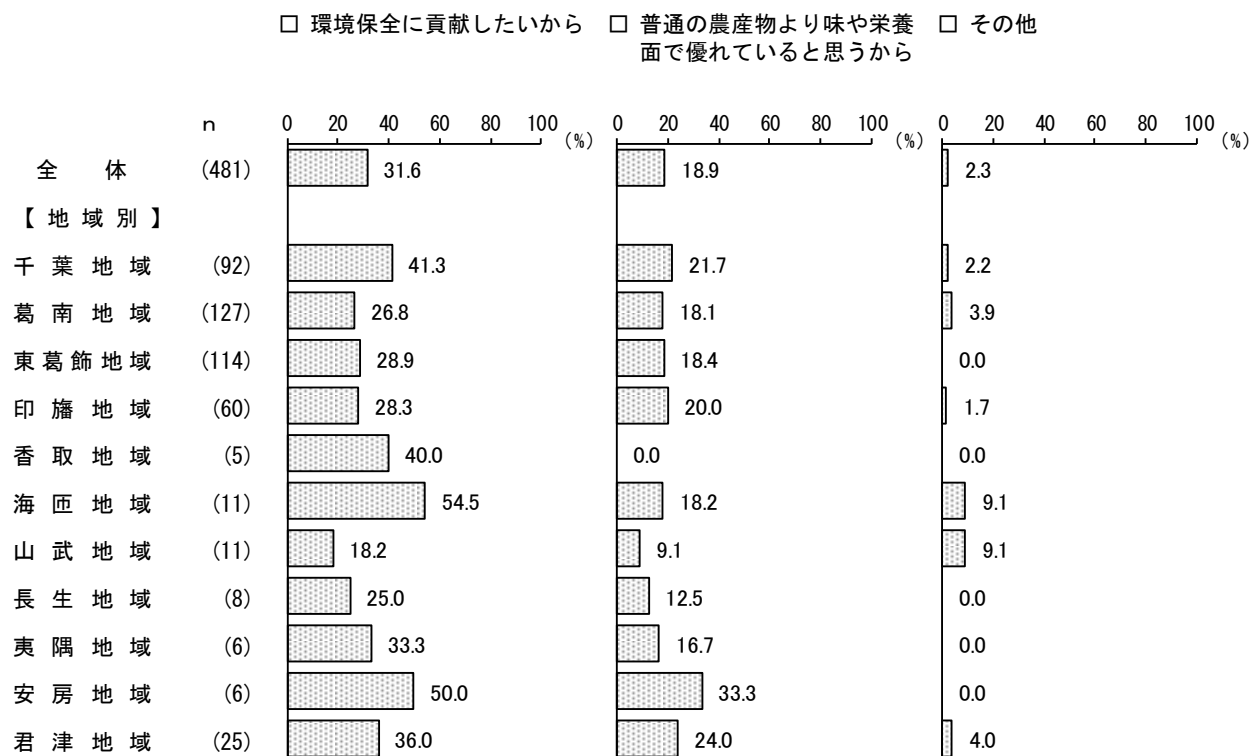
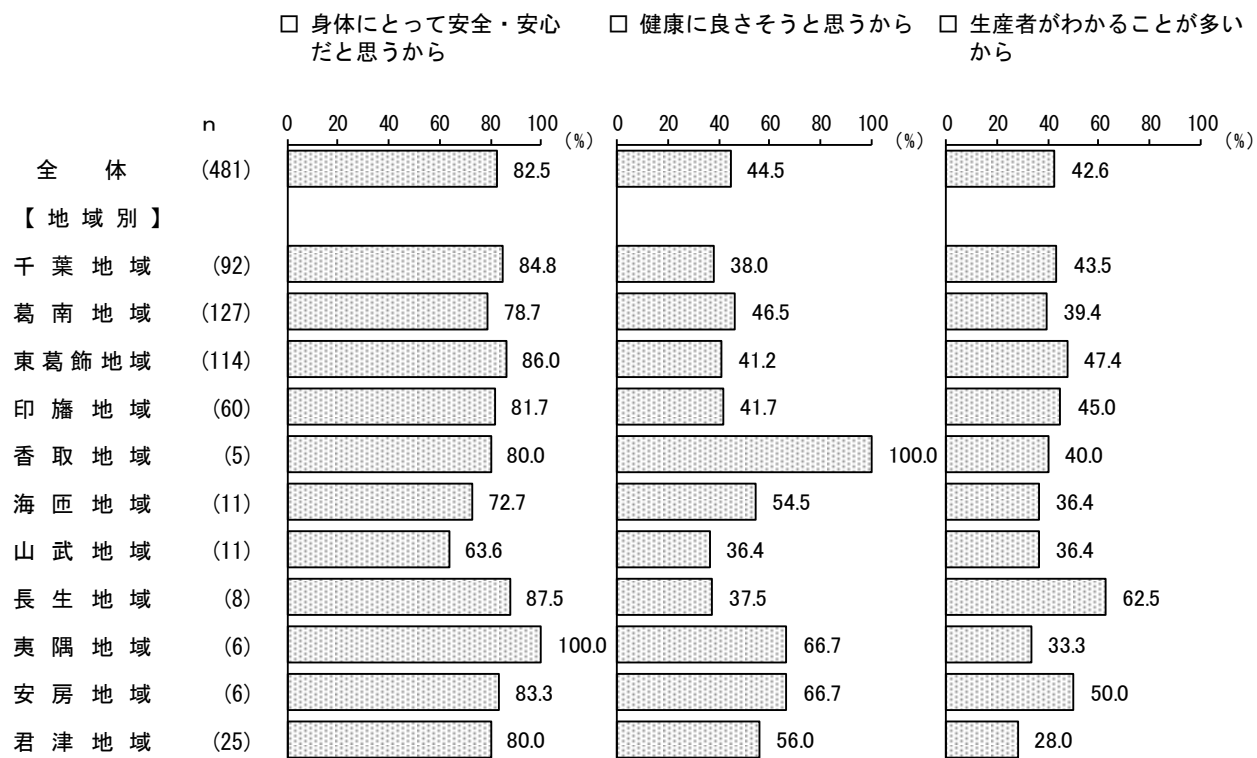
地域別にみると、「環境保全に貢献したいから」は“千葉地域”（41.3％）が４割を超えて高くなっている。（図表４－６）

【性・年代別】

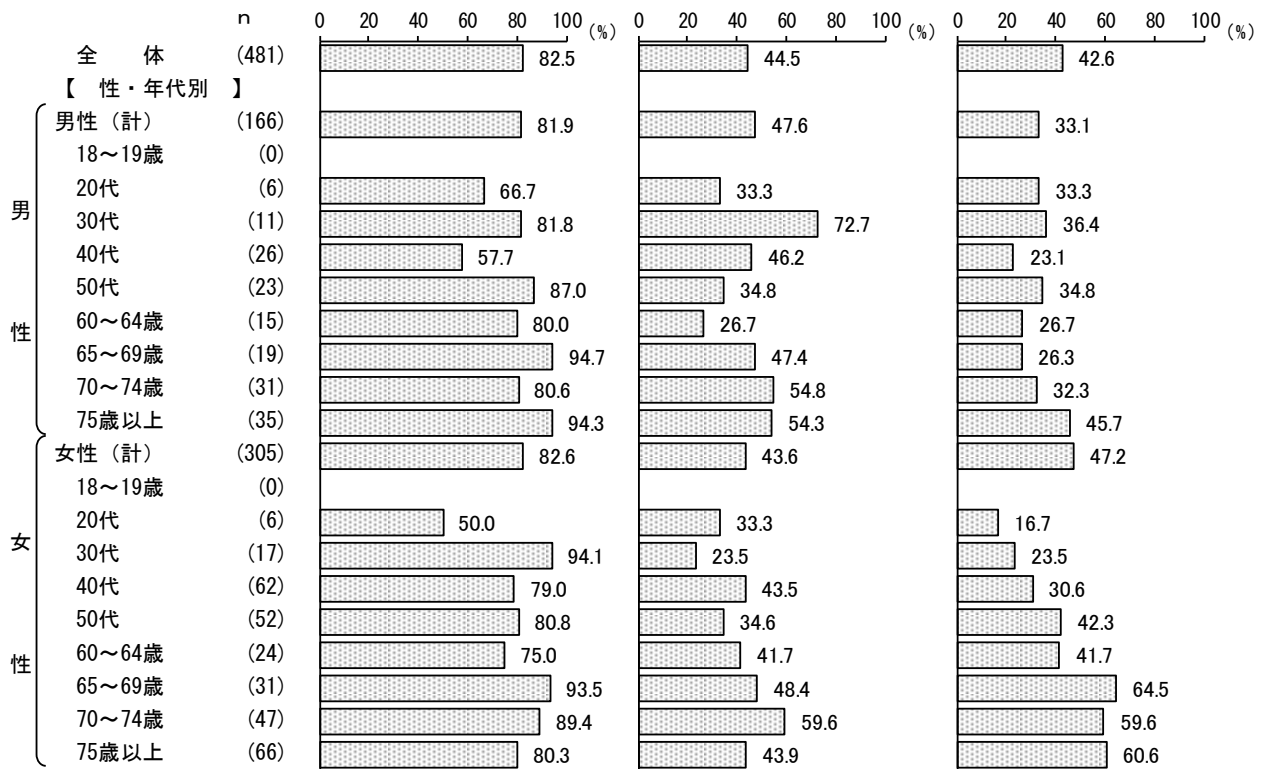
性・年代別にみると、「健康に良さそうと思うから」は、女性70～74歳（59.6％）が約６割で高くなっている。

「生産者がわかることが多いから」は、女性65～69歳（64.5％）が６割台半ば、女性75歳以上（60.6％）が６割、女性70～74歳（59.6％）が約６割で高くなっている。（図表４－６）

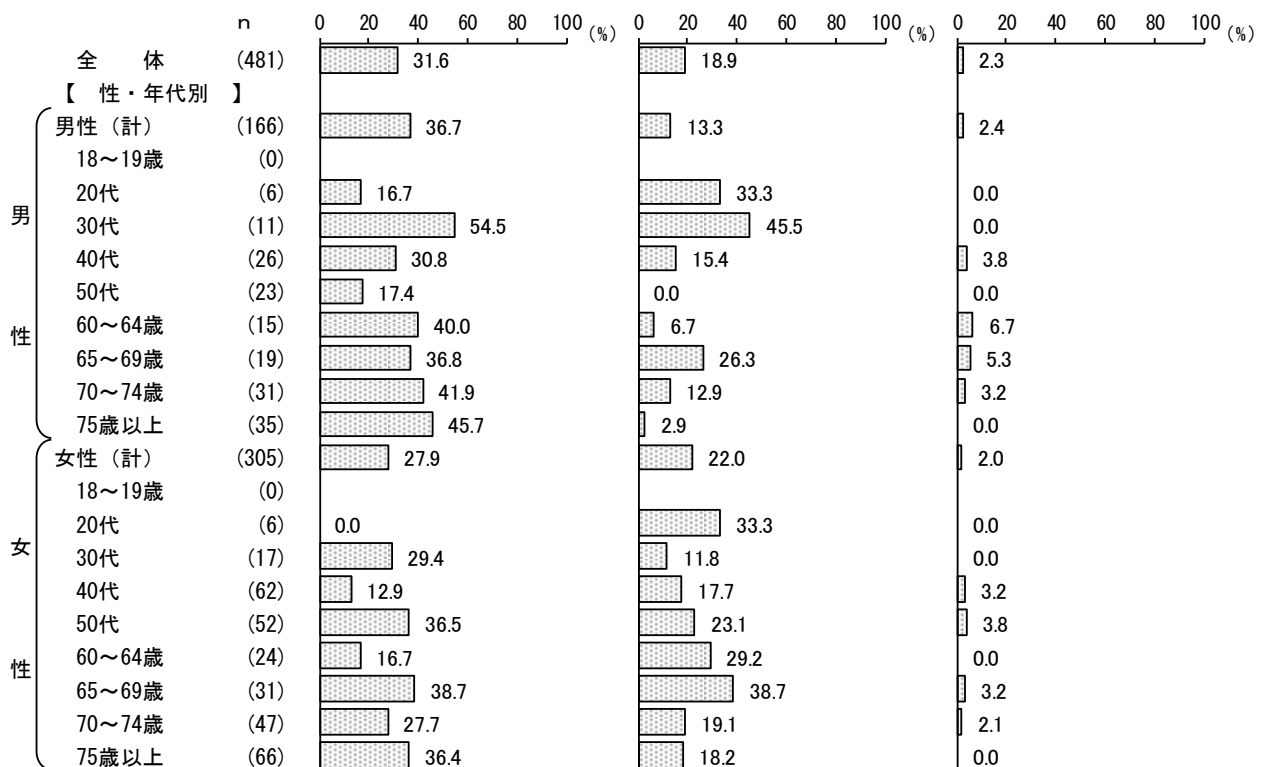
＜図表 4－6＞有機農産物購入理由（複数回答）／地域別、性・年代別



□ 身体にとって安全・安心
と思うから □ 健康に良さそうと思うから □ 生産者がわかることが多い
から

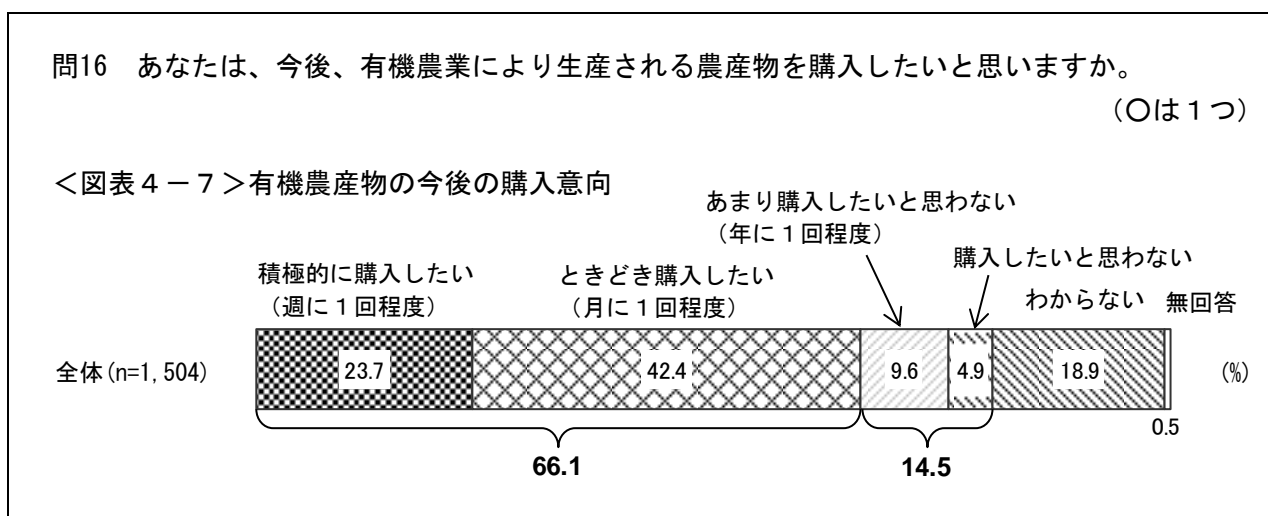


□ 環境保全に貢献したいから □ 普通の農産物より味や栄養
面で優れていると思うから □ その他



（３）有機農産物の今後の購入意向

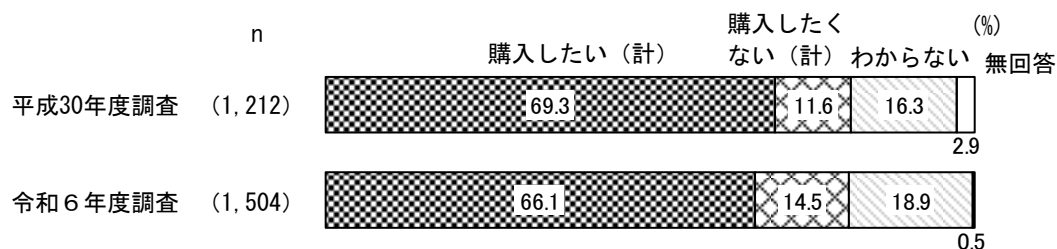
◇『購入したい（計）』は６割台半ば



有機農産物の今後の購入意向を聞いたところ、「積極的に購入したい（週に１回程度）」（23.7％）と「ときどき購入したい（月に１回程度）」（42.4％）を合わせた『購入したい（計）』（66.1％）は６割台半ばとなっている。

一方、「あまり購入したいと思わない（年に１回程度）」（9.6％）と「購入したいと思わない」（4.9％）を合わせた『購入したくない（計）』（14.5％）は１割台半ばとなっている。（図表４－７）

〔参考〕平成30年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



【地域別】

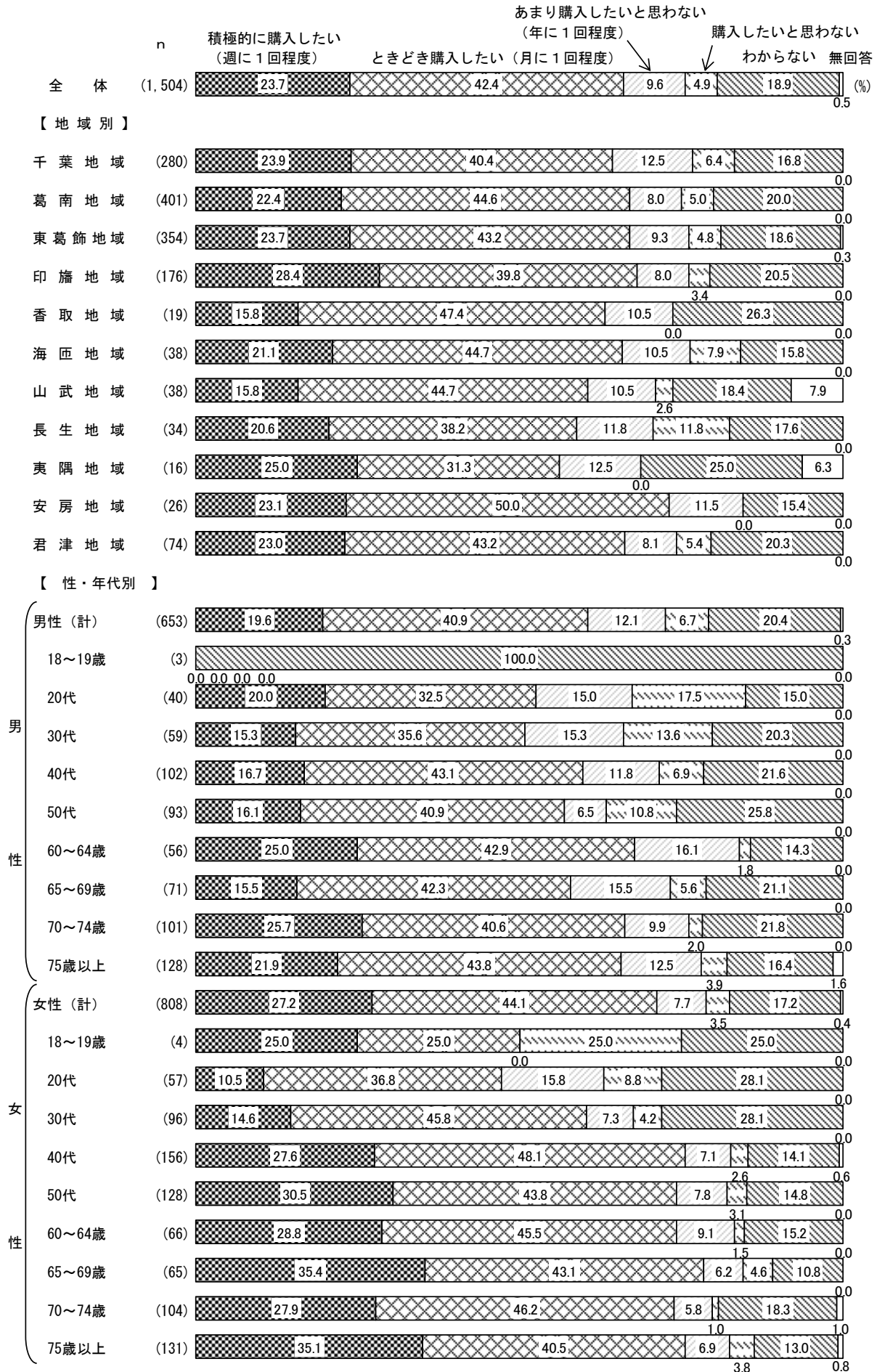
地域別にみると、『購入したくない（計）』は“千葉地域”（18.9％）が約２割で高くなっている。（図表４－８）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『購入したい（計）』は、女性65～69歳（78.5％）が約８割、女性40代（75.6％）、女性75歳以上（75.6％）、女性50代（74.2％）が７割台半ばで高くなっている。

一方、『購入したくない（計）』は、男性20代（32.5％）が３割を超え、男性30代（28.8％）が約３割、女性20代（24.6％）が２割台半ばで高くなっている。（図表４－８）

<図表 4－8>有機農産物の今後の購入意向／地域別、性・年代別



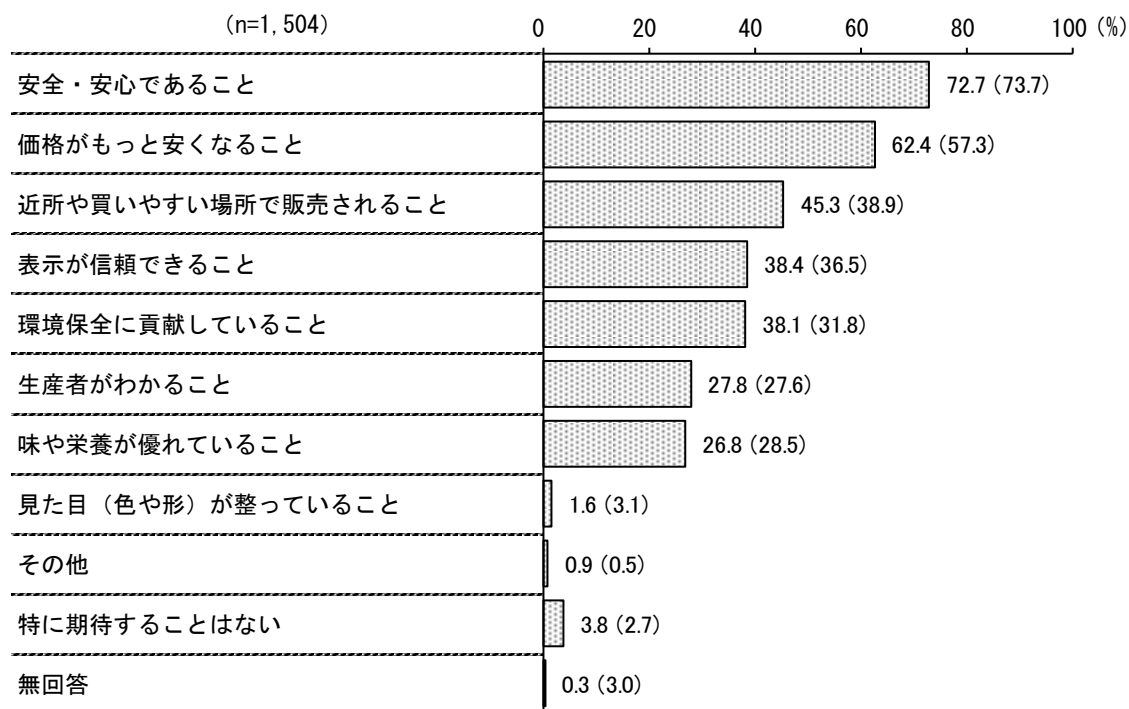
（４）有機農産物に今後期待すること

◇「安全・安心であること」が７割を超える

問17 あなたは、今後、有機農業により生産される農産物について、何を期待しますか。

（○はいくつでも）

＜図表４－９＞有機農産物に今後期待すること（複数回答）



注）（ ）の数字は平成 30 年度の同様の項目による調査結果 n = 1,212

有機農産物に今後期待することを聞いたところ、「安全・安心であること」（72.7%）が７割を超えて最も高く、以下、「価格がもっと安くなること」（62.4%）、「近所や買いやすい場所で販売されること」（45.3%）、「表示が信頼できること」（38.4%）が続く。（図表４－９）

【地域別】

地域別にみると、「安全・安心であること」は“印旛地域”（80.1%）が８割で高くなっている。

「価格がもっと安くなること」は“千葉地域”（67.5%）が約７割で高くなっている。

（図表４－10）

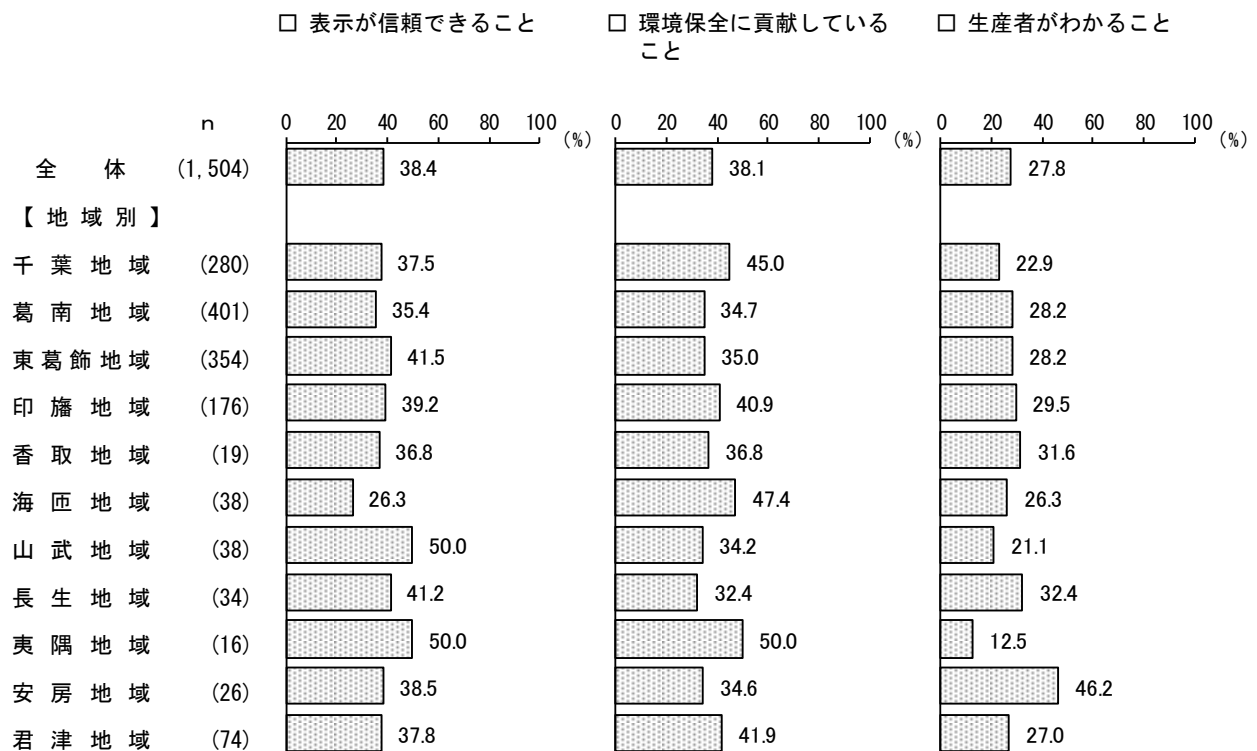
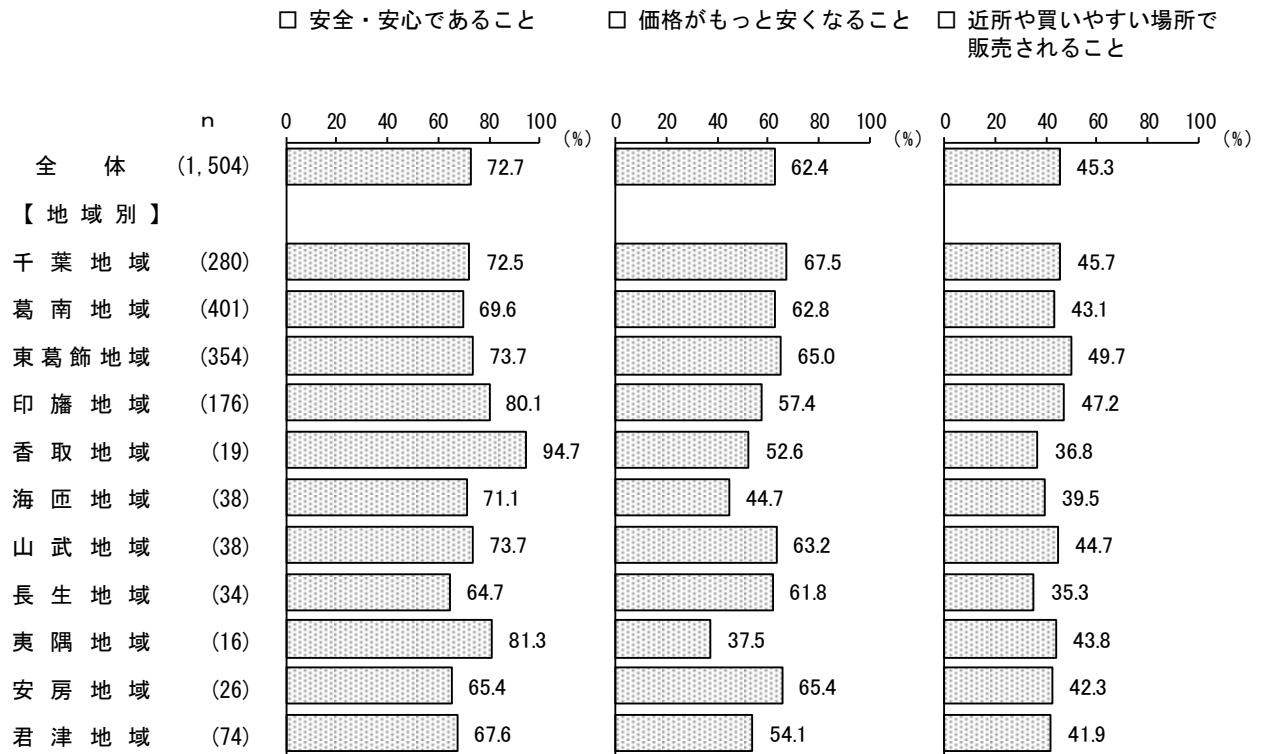
【性・年代別】

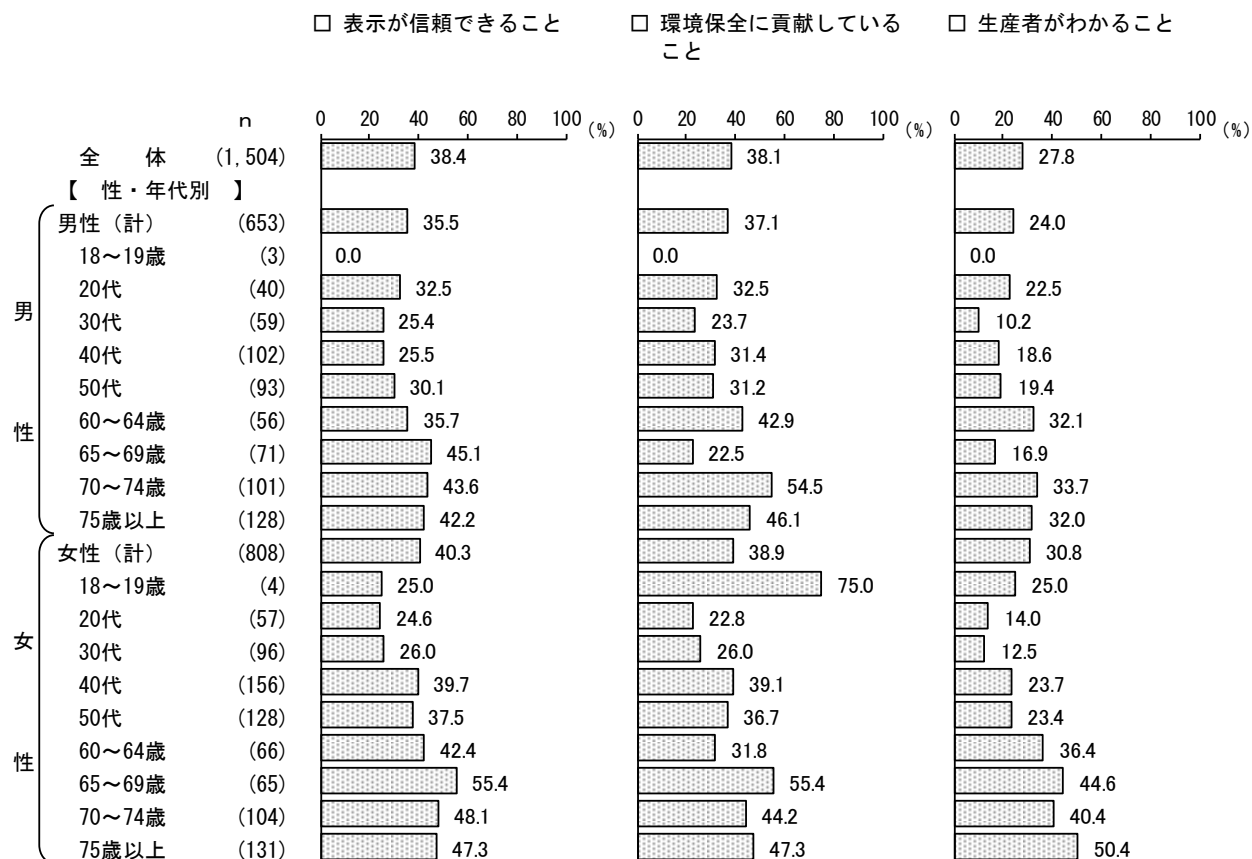
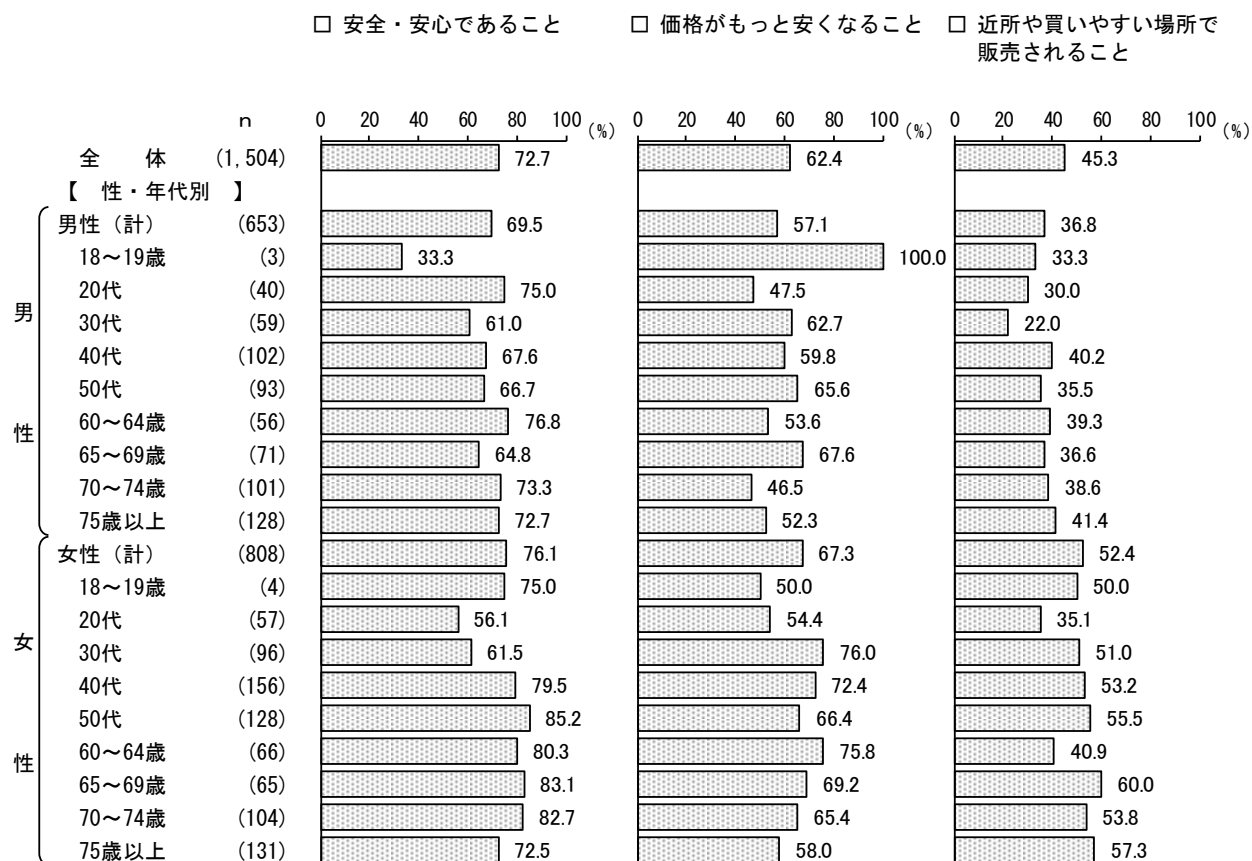
性・年代別にみると、「安全・安心であること」は、女性50代（85.2%）が８割台半ば、女性70～74歳（82.7%）が８割を超え、女性40代（79.5%）が約８割で高くなっている。

「価格がもっと安くなること」は、女性30代（76.0%）、女性60～64歳（75.8%）が７割台半ば、女性40代（72.4%）が７割を超えて高くなっている。

「近所や買いやすい場所で販売されること」は、女性65～69歳（60.0%）が６割、女性75歳以上（57.3%）が約６割、女性50代（55.5%）が５割台半ば、女性40代（53.2%）が５割を超えて高くなっている。（図表４－10）

＜図表４－１０＞有機農産物に今後期待すること（複数回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）





このほかにも、「有機農業について」や問14～問17について、ご意見やご提案があれば自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、170人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「有機農業について」の自由回答（抜粋）

○有機農業商品は、高価なイメージがあり、手を出しにくい。県内で生産されているものについては、可能な範囲で安価に提供していただきたい。

（男性、40代、葛南地域）

○有機農業は環境には良いと思いますが、実際手間がかかり農業に携わる人の高齢化や人材不足によって難しい面もあるのでは。

（男性、70～74歳、千葉地域）

○有機農業について、ほとんど知識が無く、必要性がどこにあるのかわからない。有機農業で生産された野菜のどこがすばらしいのかもう少しアピールすべきです。

（男性、65～69歳、葛南地域）

○有機作物は高い印象がある人が多いと思います。でも高いのではなく、普通の作物の値段が安すぎるだけです。だから後継者がいなくなり、耕作放棄地が増えるのです。いざとなれば輸入すればいいやと考えているのでしょうか？ 農家を大切にするような政策など、国民の意識もそうですが、考えていかないと本当にまずいと思います。宜しくお願いします。

（男性、30代、安房地域）

○身体に良いし美味しいことは分かっていて、以前はよく購入していましたが、高値になり家計も苦しくなってからは、残念ながら買っていません。

（男性、60～64歳、印旛地域）

○近所のスーパーで販売されることが少なく、遠くの道の駅等で購入している。観光PRも含めて各道の駅で販売されている情報提供をして欲しい。

（男性、70～74歳、千葉地域）

○学校給食に積極的にとり入れてほしい。

（性別無回答、年齢無回答、千葉地域）

○化成肥料を有機肥料に変更した場合の差額を補助金で交付するのはどうでしょうか。

（性別回答しない、30代、印旛地域）

○料理が苦手なので、農産物をそのまま販売されるより、美味しい惣菜や加工品にされていると購入したいと思う。

（女性、30代、葛南地域）